



前南進路だより



第2号

令和6年12月23日発行

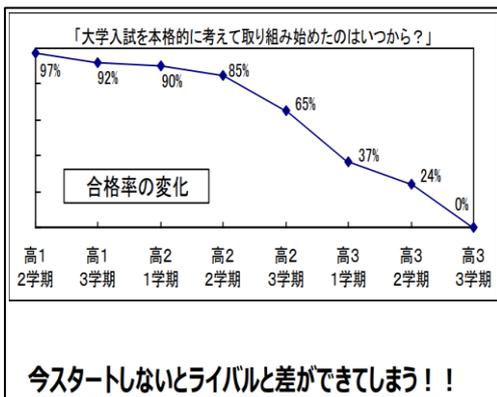
1、ここまでの進路行事について

一年で最も長いとされる2学期も終了となりました。今年度は、『本校生徒の主体性を高める取組』に重点を置き、様々な進路行事を行ってきました。そして、生徒自らが進路について考える良い機会になったかと思います。3年生は、約1ヶ月後に大学入学共通テストを控えております。また、2年生は「3年0学期」を迎えようとし、大学受験の第一歩を踏み出す時期となります。1年生は、学習内容の定着をはかりつつ、文理選択が行われる2年生に向けて苦手科目の克服等、しっかり準備をする期間となります。3学期においては、各学年で取組内容は多少異なりますが、進路実現という目標の達成に向け、頑張って欲しいと思います。ここでは、今年度実施された進路行事の一部をご紹介します、本校生徒の様子についてもお伝えできればと思います。

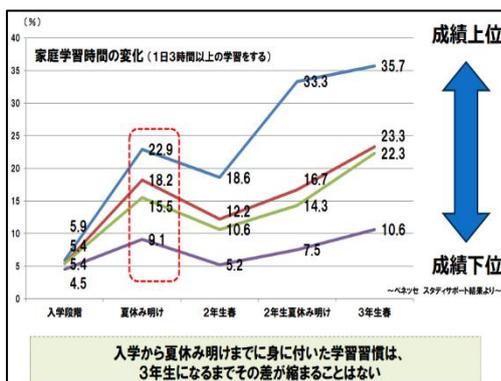
(1) 進路講演会の開催



6月にベネッセ関東支社の田邊様をお招きして、「進路実現に向けて」～入試動向と夏休み前に確認しておきたいこと～という演題で生徒対象の講演会を実施しました。今年度から始まる、新学習指導要領にもとづく新入試の特徴や、夏休みに向けて①目標設定、②目標から逆算したスケジュールを立てる、③夏休み終了時までにはすべきことを整理することなど、これから受験本番を迎える3年生にとっても参考となる説明をしていただきました。また、別日において3学年保護者の方を対象に、学年団より大学入試全般に関わるスケジュールや入試方式、今後の本校における進路関係の行事などについて、確認とお願いをする場ももうけさせていただきました。

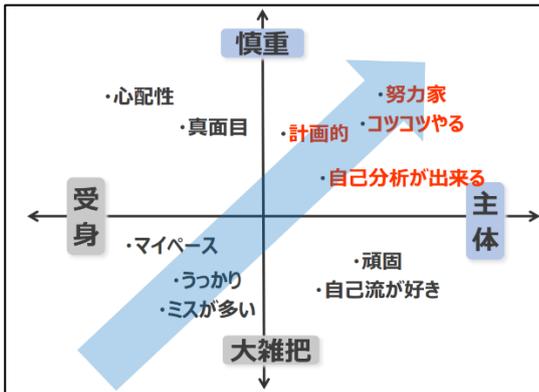


7月には1年生を対象に、ベネッセ関東支社の深堀様をお招きして、「進路実現に向けて」という演題で講演会を実施しました。2年次に向けて行われる文理選択についての概要や、学習習慣の確立に向けて、【今やるべき事】について説明をしていただきました。特に、大学受験を約50万人のマラソンレースと例え、集団から抜け出しゴール(志望校に合格)するためにも、1・2年時にどれだけ多く走れるかなど、学習習慣を確立することの重要性を訴えられていました。そして、この講演会終了後(帰宅後)に、実際に学習に取り組んで欲しいとの訴えに対しても、多くの1年生が良い刺激を受けたようでした。





10月には2年生を対象に、河合塾関東営業チームの森口様をお招きして、「現役合格に向けて」～3年0学期への心構え～ という演題で講演会を実施しました。講演の冒頭で、「努力した者が成功するとは限らない。しかし、成功した者は必ず努力している」ことを生徒に話していただき、学力のピークを共通テスト本番ではなく、3年次の10月下旬を目指し、学習を計画的に進めることが重要であること。特に、1・2年生の学習内容が現役合格のカギをにぎっているため、しっかり習得してほしいとのことでした。



講演の後半では、大学受験を迎える際に、志望校に合格が出来るか、不安になってしまう生徒が多いのが現状です。ただ、将来の自分(なりたい姿)をイメージした時に、「大学はあくまでも通過点である」ととらえることで、少し気持ちに整理がつけられるのではないかと。そして、合格する生徒の特徴に、コツコツ・計画的に学習をし、しっかり自己分析が出来るということが合格の秘訣のようです。改めて、本校で現在行われているSAHの活動による、非認知能力の育成に繋がりがあります。修学旅行後に行われた講演会でしたが、生徒一人ひとりが真剣に講師の方の説明を聞いている姿が、印象的でした。

(2) 卒業生講演会

11月には、様々な場面でご活躍されている本校卒業生による講演会を開催しました。今年度は、「進路実現に向けて」～高校から現在までを振り返り～ という演題で、卒業生の油井原様にお願いをしました。まず、自己紹介も兼ねて幼少期から中学生までの様子や、本校における高校時代の勉強や部活動の思い出等を話していただき、1・2年生も親近感が湧いたようでした。そして、進路選択の過程や大学時代から大学院における学びの様子、そして現在の職に就くに至るまでの経緯などを説明していただき、生徒たちも興味深く聞くことが出来ました。最後に、将来の目標や後輩への一言について話しをしていただきました。



(3) 大学見学会

SAHジャーナル Vol.67に掲載されているように、10月に1年生の大学見学会を『完全班別行動』による現地集合・現地解散の形態で実施をしました。早稲田大学・慶應義塾大学・青山学院大学・上智大学・東京都立大学・東京海洋大学などの首都圏の大学の中から、希望する大学を選び見学をしました。生徒の感想やアンケートを見ても、とても有意義かつ大学への興味・関心を深めることができたと思います。普段なかなか首都圏に足を運ぶ機会が正直少ない中で、友人達と協力しながら行動を共にすることは、非認知能力の育成にも繋がるはずです。この経験を糧に、首都圏・県外の大学にも視野を広げ、「自分が行きたい大学」を見つけ、合格に向けて頑張りたいと思います。



(4) 研究室訪問・大学説明会（模擬授業）

12月には、2年生を対象に研究室訪問（前橋工科大学・高崎健康福祉大学にて）・本校にて大学説明会（模擬授業）を実施しました。研究室訪問については、前橋工科大学では建築・都市・環境工学群、情報・生命工学群に所属する、それぞれの学科の研究室を訪問させていただき、施設の紹介や研究内容等について説明をしていただきました。また、高崎健康福祉大学でもすべての学部・学科を対象に、生徒が興味・関心があるもの、志望している分野の研究室に訪問させていただき、同様の説明をしていただきました。大学説明会（模擬授業）においては、群馬大学（情報学部・教育学部）・群馬県立女子大学（文学部国文学科・英米文化学科、国際コミュニケーション学部）・共愛学園前橋国際大学（国際、情報経営、経済金融）のそれぞれの分野の先生方をお招きし、実際に大学で行われている講義を体験し、大学進学への意識が高くなったと思います。ここで、感想の一部をご紹介します。

【前橋工科大学・2年女子】

オープンキャンパスでは、2つのプログラムしか見ることはできませんでしたが、今回は6つ全てのプログラムについて知ることができ、工学の中にはさまざまな種類があると知ることができました。（一部抜粋）

【高崎健康福祉大学・2年女子】

ネットで調べたよりも、具体的に知ることができ、看護がどういうものか理解することができた。また、他の大学と違って幼稚園や訪問看護ステーションなどがあって、充実した大学生活と学習ができるなと思った。（一部抜粋）



【群馬大学（共同教育）・2年男子】

小・中学校の授業のカリキュラムが予想以上に細かく組まれていて驚きました。教える立場の人は内容を完璧に理解しているので授業をすることはさほど難しくないだろうと思っていましたが、準備をするのはとても大変そうだと感じました。（一部抜粋）



【群馬大学（共同教育）・2年男子】

小・中学校の授業のカリキュラムが予想以上に細かく組まれていて驚きました。教える立場の人は内容を完璧に理解しているので授業をすることはさほど難しくないだろうと思っていましたが、準備をするのはとても大変そうだと感じました。（一部抜粋）



【県立女子大学（国際コミュニケーション）・2年女子】

英語の会話の仕組みを「ターン」や「区切り」を通して分かりやすく教えてもらって理解できました。（一部抜粋）

【前橋国際大学（情報経営）・2年女子】

お金をまつわる経済の話や、クラスや会社などの「組織」についての講義を受け、今後の部活動にも生かせる話だと感じました。（一部抜粋）

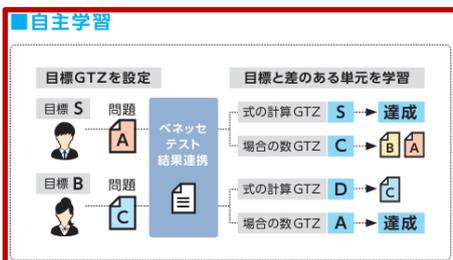
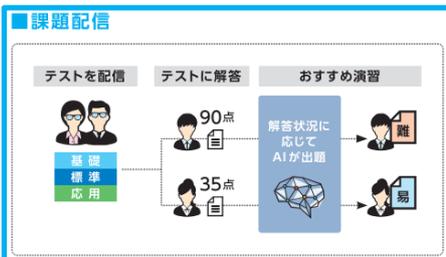
2、今後に向けて

(1) SAH study clubと個別最適学習

SAHジャーナル Vol. 71 に掲載されております、1年生のSAH study clubの活動の重点に、「勉強の自走化（習慣化）」を図ることとあります。日常生活において、学習時間を毎日しっかり確保し、学習習慣を確立することは、非常に困難なことであると推測されます。特に、部活動を行っている生徒においては、疲れて自宅に帰り、夕食を食べてお風呂に入ると、気持ちよくなって眠ってしまうというサイクルに陥りがちです。いかにして学習時間を一定量確保し、計画的かつ継続的に学習できるかが、志望校合格へのポイントになってきます。まずは、授業を第一に考え、基礎基本となる部分をしっかり理解

することは言うまでもありません。そして、学習内容の定着のための復習を、【家庭学習・すき間時間】を利用して行えると非常に効果的です。以前、「前南進路だより・第1号」でもご紹介させていただいた「Classi」の個別最適学習ですが、【課題配信】は必要に応じて教科担当から配信されるに対して、あまり詳細について掲載できなかった【自主学習】は、設定した目標に応じ、单元ごとの問題演習に取り組めるため、効率的な学習が可能です。また、[理科]・[地歴]（公民は除く）のコンテンツも追加となり、2・3年生にとっても利用しやすくなりました。

そこで最後に、【自主学習】の進め方の詳細を掲載させていただきましたので、すき間時間や冬季休業中などに利用してほしいと思います。



～【自主学習】の進め方～

≪ 1 目標 (GTZ) を設定 ≫

- ①【学習トレーニング】をタップ ②目標とする【GTZ】を設定⇒教科ごとに設定



志望校が決まっていれば
志望校のGTZ入力。
決まっていない場合は1
つ上のGTZを設定。

GTZって何？
「GTZ」とは「学習到達ゾーン」の略です。S
からDまで大きく5段階あり、上のレベルに
いくほど進路の選択肢が増えていきます。

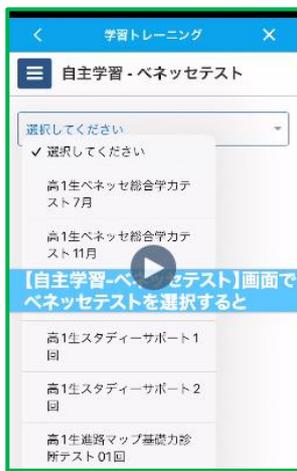
- S… 難関大合格レベル
- A… 国公立・中堅私立大合格レベル
- B… 国公立・中堅私立大挑戦レベル
- C… 4年制大挑戦レベル
- D… 基礎・基本要請レベル

≪ 2 活用事例① ～模試に向けて準備～ ≫

- ①【学習トレーニング】をタップ ②【ベネッセテスト】をタップ ③ベネッセテストを選択 ④強化したい単元問題を選ぶ



すべてのプログラムで
必ずタップすることから
始まります。



⑤目標のGTZに応じて、「対象マーク」が表示



「対象マーク」の問題にすべて正解したら☑表示

⑥すべての小単元のトレーニングが完了するとスタンプ表示



《 3 活用事例② ～模試終了後の振り返り～ 》

①【自主学习】の【ベネッセテスト】をタップ



②「結果GTB」と「目標GTB」を比較



③出題された中單元ごとにGTZが表示



④結果に応じて、「対象マーク」の問題を解く



「結果GTB」にテストの結果が反映

目標をクリアしている中単元は「目標GTB達成」

目標GTBに届かなかった中単元は空欄
↓
GTZの差が大きいものから復習



すべての小単元のトレーニングが完了したらスタンプ表示
↓
すべての中単元に、スタンプ表示を目指そう！！